

えごぼま

# ミニ門松づくり



開催日：2019年12月15日（日） 参加者：大人 32名、子ども 6名

材料：孟宗竹（土台）、破竹（門松）、黒松、赤松、梅、熊笹、シュロ縄、砂



挨拶とお願い

- ・自然の材料を使っていること
- ・門松を使い終わった後の処分方法
- ・もえるごみに出すための大きさのルール
- ・年末の掃除を行う際、リチウムイオン電池の入ったものは（電子たばこ・スマートフォン 電動歯ブラシ）、もえるごみには出さない。
- ・講座時に出たごみの持ち帰りのお願い。



講座の様子

完成



<参加者の声>

- ・シュロ縄の「七・五・三」結びが難しかった。7名
- ・完成の状態を教えてもらえなかった。ひもの結び方が難しい。黒松と赤松の見分け方が判らなかった。（女性）
- ・何故、正月に門松を飾るのかの意味を教えに参加した。体感すれば忘れない。（神様を正月にお迎えするため）（親子参加）

<質問>

- Q 門松はいつまでに飾り、いつ撤去するのか？  
 A 28日以前の9の日を避ける。1月7日まで
- Q 結び方が難しい。簡易な結び方はできないのか？  
 A 縁起物の「男結び」（子孫繁栄を祈念して）にしたが、蝶々結びでも構わない。